

ラドコチェコ出身の元神者（半）：く成するかれた

:

明:あるイラク人との出会いが、 神者だったクリスチャンのイスラ ムへの 心を呼び起こします。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: ラドコ

E09 Jun 2014

集日 09 Jun 2014

2001年の7月、私はイラク出身の若者に出会いました。彼の名はイブラ ヒ ムといました。私たちはすぐさま打ち解けました。彼は自分がムスリムであることを私に教えてくれたので、私は自分がクリスチャンであることを告げました。私はそのことが彼にとって かもしれないと心配しましたが、それが いで安心しました。 味深いことに、私はムスリムになりたくもなかったし、彼は私を改宗させようと みもしませんでした。

私はムスリムをエキゾチックな分 だと なしていましたが、イスラ ムについてもっと学びたいとも思いました。それは学びの良い 会でした。私は、自分の正面にイスラ ムを 教えてくれる人物がいることを意 していたので、勇 を い起こして してみました。それが私とイスラ ムとの最初の出会いで、最初の第一 でした。その 、私たちは が途 えましたが、その には かれたのです。

私がムハンマド アリ スィルハヴィ （古参のチェコ人ムスリム）のインタビュー を み、彼の住所を べて手 を出そうと思っていた矢先に、9 11事件が起こりました。当 の政治的な向きから、スィルハヴィ 氏に手 を出すのは 切な 期ではないかもしれないと思い、行きまってしまうました。

しかしその二ヶ月 、私は思い直し、勇 を出してスィルハヴィ 氏に 文の手 を出しました。しばらくすると、彼から小包が届き、そこにはイスラ ム 籍と小 子が入っていました

。彼によると、彼は私のことをプラハのイスラ ム に え、クルア ンの翻 本を送ってくれるよう、手配したとのことでした。これが私にとっての始まりでした。そこから徐々に、私はイスラ ムが好 的な宗教ではなく、全く正反 なる、平和の宗教であることに 付き ました。私の疑 念は答えられたのです。

私は特定の状 況に置かれていたため、私がスィルハヴィ 氏を ねようとして心したのは、それ から3年 でした。彼は 々な について根 拠を明してくれ、ブルノ（チェコ第2の都市）にあるモスクを ねるよう提案してくれました。ブルノのモスクを ねると、部外者のように われるのではないかと恐れましたが、幸いなことにその思惑は外れました。そこでは 、私を最初に手助けしてくれた、KとJに出会いました。もちろん、他にも可能な限りの温かい 待をしてくれた兄弟たちとも出会いました。

私はイスラ ムのすべての 面を精 査し始め、いかにイスラ ムが理解しやすく、 理的であるかを 出しました。私は次第に礼 儀の仕方を学び始め、今日ではアラビア でも なく礼 が出来るようになりました。また、私はイスラ ムとは相容れない 癖を止めることにしました。私はギャンブルにのめり 込んでおり、そのことにかけては非常に けていました。それは困 難な葛藤でしたが、神の助けによってそれに打ち つけことが出来ました。

イスラ ムに する 味、または自分がムスリムとして生きれるかどうかを疑念を抱いていましたが、今ではその 味が永 的なものであり、自らをムスリムとみなしていると自信を持って言うことが出来ます。それは非常に なることかと思われるかも知れませんが、それも神の助けによって 乗り越えることが出来たのです。私はイスラ ムを受け入れることに してはとても慎重に しました。正直に言えば、2003年を通して、2004年の始まりまでは、そうできるかどうか完全に 信していたとは言えませんでした。最 的に、私は完全に 意しました。私はもう、90年代前半の、あの若者ではないのです。

それゆえ、私は今日、ムスリムとして非常に幸福であると感じています。ようやく、私は自由を感じています。私には不完全な部分もまだありますが、それらは をかけて向上させていこうと思っています。そして今、私にはあなたに たいことがあります。それは私にとっての でもあります。それは私が心から、唯一なる真 の神以外に神はなく、ムハンマドが神の使徒である事を信じており、 言するということです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/473>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。